



Vol. 2. For Fukuoka.

考案・計画・実行： 上野敬光・遠藤晃佑

決行日： 2015/12/19~21

執筆者： 中三E 遠藤晃佑



@松江～宍道間

※

※

※

はじめまして。停車場での執筆は二回目となります、中学三年E組 遠藤晃佑です。

この旅行は、同伴者の上野君と、サンライズ出雲を使って出雲市を經由し福岡に日本海

の絶景目当てで行く旅行です。前のページのへたくそな文は私が書きました、はい。

※注意！※ ※CAUTION！※

- ・14歳の少年が執筆した程度の文章だということを覚悟の上、過度な期待はしないでください。そのような文章がお嫌いの方は、とぼしていただいて結構です。
- ・停車場を読むときは、停車場から目を24.5センチほど離し、部屋を明るくして読みましょう。あなたの目の健康を妨げる恐れがあります。
- ・混雑時、優先席付近では、停車場の電源をお切りください。また、それ以外の場所では、マナーモードに設定のうえ、音読はご遠慮ください。皆様のご協力をお願いします。

以上のことをご了承のうえお読みください。



@東京駅

1 紹介コ～ナ～

ここで、同伴者を簡単に紹介させていただくついでに、私のプロフィールもすこしだけ載せさせていただきます。

名前	学年・クラス	最寄駅	愛用のカメラ	紹介文
遠藤晃佑	中学三年 E 組	東京都から神奈川県に伸びる数ある路線のうち、おそらくもっとも距離が短いであろう路線の東京都の駅。	LUMIX TZ-35 Nikon D3300	通称「遅刻大魔王」、「青い金髪」などである。ちなみに、後者は「青い」=いつも青いリュックを背負っているから。「金髪」=

				別に染めているわけではなくもともと茶髪。金髪はおおげさ。
上野敬光	中学三年C組	「まあい緑のや〇〇〇線♪」の歌で知られる路線のどこかの駅。ちなみに上野ではない。上野東京ラインでもない。	Canon SX500 Nikon D3200	通称「うえの～」、「東京ライン」、そこから発展して「東京」など。一つ目は上野駅の到着アナウンスから、後ろ二つは上野東京ラインから。

この表から見ればわかる方はわかると思うが、去年の停車場（停車場 Vo1. 19. 本校のホームページにカラーで乗っています。是非見てください。まあ URL 打つのが面倒くさいという方は本校の HP から鉄研の HP にアクセス）で、私はコンデジに関するコンプレックスをぶちまけていた。だが一眼になった。しかしあまり練習せずに実用本番。もったいない。

2 旅行……の前に

今日は11月19日。旅行の予備日の一か月前である。どうしても今日この日に、あることをしなければならない。

分かる方は分かっただろう。そう、**切符を取らなければならないのだ！**

目的は、12/20 発サンライズ出雲なので、勝負の本番は明日。今日は取れなかった場合の予備として通称「十時打ち」をする。

なお、十時打ちについて誰も説明していなかったのも、ここである程度は説明させていただく。興味のない方は、「4 出発！」までとばしていただいても結構である。

まず、「十時打ち」とは、速い話がえきねっとや駅の指定席券売機では買えない、みどりの窓口でしか買えない列車の切符（例：サンライズ出雲・瀬戸、ななつ星 in 九州などの寝台特急やジョイフルトレインなどの臨時の特急）や、人気すぎてすぐ売り切れる列車の切符（例：北海道新幹線開業時の初便の切符。上りは8秒、下りは7秒で売り切れた）の発券が始まる十時に取ることである。

しかし、早ければ早い方がいいので十時にみどりの窓口に行って「この特急の指定席券くださいー」と言っても「ちょっと待ってね」と言われるだけである。場合によっては取れないこともあるだろう。なぜか。それは、**予約をした人が優先だからである。「予約」**

というのは、みどりの窓口が開く時間に行って予約すると、係員の人が十時にスタンバイしてくれて切符を取ってくれるのである。すごい人はみどりの窓口が開く時間のはるか前（人によっては前日昼や夜。この人たちを私は「徹夜組」と呼ぶ）から並ぶ。驚異的である。一体何の列車が彼らをそこまでさせるのだろうか……。なお、予約ができないみどりの窓口もあるので注意。

さて、かなり大まかに説明したがわかっただろうか。もしわからなかったら Google 先生またはそこら辺にいる鉄研部員に聞いてみていただきたい。もし彼らが答えられなくても許してやってください。

さて切符をとる当日、上野くんと相談した結果、上野くんは渋谷・大森、私は川崎・蒲田で取ることにした。

なぜ私が連続した駅なのかというと、私の方が最寄駅の初電が遅いのである。まあ、向こうは JR、こちらは私鉄。しかたがないだろう。

※

※

※

おはようございます。まもなく、川崎～、川崎。時刻は 05:29 である。川崎のみどりの窓口が開くのは 06:30。あと一時間もある。ここで本の大部分は読んでしまった。しかし一番乗りであった。たまに徹夜組（すごい人だとデッキチェアなどを持って寝ている人も）がいることもあるので、初電に乗った＝一番乗りということではない。ちなみに上野くんは前に徹夜組（？）が四人いて、五番目だったらしい。

そうこうしていると、時刻は 06:30 になりみどりの窓口のシャッターが開く。そして中に入り、みどりの窓口の係員の人の指示に従って申込用紙に乗る列車やその時刻を記入し、それを提出した。これで無事に予約が完了した。

川崎での予約を済ませ、蒲田に行く。蒲田では 2 番目であった。前の人は徹夜組かな？

川崎と同じようにして蒲田での予約を済ませ、上野くんと品川で待ち合わせ、朝食と昼食を買い、品川駅 9・10 番線ホームで食べた。そして、京急で学校へ向かった。

そして一気に時刻を飛ばして午後 3 時頃。学校が終わり、まず渋谷に行った。上野くんが改札を出て、みどりの窓口に向かう。私のいる改札内からはよく見えない。上野くんからメールが来るたび、「取れたのか！？取れたのか！？」と緊張しているのだが、「あと前に 12 人いる」「あと 8」「5」「2」という感じで、ただ自分が何番目かしかメールしてくれない。そして最後の「2」というメールからさらに 10 分が経ち、15 分が経ち、20 分が経ったころ、上野くんが改札に姿を見せた。メールしろや！！そして、首尾は……………「取れなかった」なんなんだ！！

まあいろいろあったが、私たちは川崎へ向かった。

そして川崎に到着。今度は私が上野くんを待たせる番である。しかし、実は川崎駅は親

切で、取れたか取れてないかをみどりの窓口の前に貼り出してくれるのである。それを見てから上野くんにメールしよう。さあ、果たして・・・・・・・・



見えるだろうか。HP でカラーで見ている方は見えると思うが・・・。

1 番が○になっている、すなわち取れたということである。やった！

というわけで川崎で取れたので蒲田と大森はスルー。さあ、本番は明日である。とれたらいいな～。

次の日。とる行程は前日と一緒になので割愛させていただく。というわけで早速緊張の受取編に飛ぶ。

渋谷は前日のように取れなかった。そして期待している川崎である。



残念ながら 1 番は×。このあと、蒲田と大森にいったが、残念ながらどちらでもとれなかった。ということで、旅行は 12 月 19 日に行くことが決定した。

その帰りに品川駅でその他の特急（スーパーおき、ソニック）の特急券を買った。ガラガラだったので好きな席が取れた。

3 ☆前日準備☆

今日は 12 月 18 日。さて、旅行に行く準備をしよう。まず、私が子どもの時から使っている赤いリュックにカメラ…ティッシュ…それから、私がバザーで競り落としてきた水色の腰巻バックに財布…切符…充電器諸々…ハンドタオル…ハンカチ…PSVita…それから、あとそうだ。あの秘密兵器も持っていこうか。それも用意…それから、私の叔母から貰った小さいキャリーバックに衣服…洗面用具。

ちなみに、「あの秘密兵器」とは……



こんな容器に入っていて、開けると……



アラ不思議！こんなかわいらしいテルテル坊主の兄弟が出

てきました！弟の作ったテルテル坊主は最強である。父がゴルフに行くとき毎回持っていくくらいである。しかもダブルパワー。しかしちょっとでも傾けると正直なので曇らせてしまうのが難点。どんな完璧なものでも弱点はあるのである。

そんなこんなで、用意できた。さあ、明日に備えて寝ようか！

4 出発！

あと、ここでは行程を先に載せて、その後に解説を載せる。自分的にはこっちの方がしっくりくるし、見やすいと思うので、そうさせていただきます。

当日は、2学期の終業式であった。上野敬光（以下、上野くん）と待ち合わせているのは18時30分に品川駅中央改札の券売機の前、わかりやすく言えば、改札外のNEWDAYSの近くである。まあ、家に帰ったあとにシャワーを浴びる時間ぐらいはあるだろう。

というわけで、終業式の後家に帰った私は、シャワーを浴び、荷物の最終点検をし、あとはまったり過ごした。そして集合時間に間に合うように家を出た。

1 日目

18:30 集合 品川中央改札付近

品川 18:41:35 到着

18:57 発

↓上野東京ライン 常磐線直通 快速 取手行

停車駅:新橋、東京、～取手

東京 19:03 着

22:00 発

↓寝台特急サンライズ出雲 出雲市行

停車駅:東京、横浜、熱海、沼津、富士、静岡、浜松、姫路、岡山、
倉敷、備中高梁、新見、米子、安来、松江、宍道、出雲市
出雲市 定刻翌 09:58 着
翌 10:13 着

私は家を出た。そして、家の敷地から出た瞬間に上野君に「おっくれまあ〜す」とメールを送った。さあ急ごう！といきたいところだが、サンライズの車内で食べるつまみやジュース類を調達してから最寄駅へと向かう。

余談だが、私はつまみの中でも鮭とばが一番好きである。どうでもいいね、うん。

そして近くのスーパーで買い物を済ませ、最寄駅へ向かう。ちなみに今回は「旅行中ずっと味付け海苔を食べたいな」と思い、「徳用味付けのり 6枚×50袋 389円(税込)」を買った。あとのことは全く考えずに。

それから品川まであ〜やってこ〜やってそ〜やって(どうやって?)、私は6分27秒遅れて品川に到着した。

その間に送られた、上野くんとメールは以下のとおりである。

私「おっくれまあ〜す」

上野くん「品川着いた」

上野くん「ニューデイズの前にいる」

上野くん「まだかー」

上野くん「まだ？」

私「まだ」

上野くん「遅いなーw」

急いで北通路に上がる。そして上野くんがどこに居るかを確認し、スマホに夢中になっている上野くんの前を堂々と通って、上野くんの背後にある NEW DAYS へと急いだ。ここから察せられるが、私はこういう奴である。ちなみに、NEW DAYS に行ったのは、自分の晩飯と明日の朝飯のオニギリを買いに行くためである。

ちなみに、上の「遅いなーw」を私は NEW DAYS の店内で受け取った。

約4分、NEW DAYS にいた私は、のんびりと上野くんのところへ向かい、合流した。

サンライズの入線時刻まで暇なので、上野くんと相談し、東京まで行き、東北新幹線の入場券を買い、新幹線を見ていることにした。といっても、はくたかに遭遇してテンションをあげたあとはずっとゲームをしていたが。ああもったいない。ただ、時間を持て余した中学生なんてそんなものである。

そして、とうとうその時間が来た。急いで東京駅9番線に向かう。そして、9番線で迎え撃つ！

なにを、とはわざわざ書かなくてもわかるだろう。
そして、とうとうそれが入線してきた！



キタ——!!!!

念願のサンライズ出雲である。いろいろ苦労があったが、やっとここまで来た。感動！
私はちょっと大荷物なので早く車内に入りたかったのだが、上野くんが横サボ(方向幕)
を撮りたいらしいので、私も撮ることにした。

写真を載せておく。なお、順番としては左→右である。



さて、サボ撮影が終わったところで車内へ。

そして私たちが乗る 10 号車を軽く見て回り、それから室内へ。扉の前が異様に狭く、
一人ずつ室内へと入る。うわー、意外と狭い！まあこんなもんか。
室内に入ると、まず荷物を置きシャワーカードを買いに行った。
そして切符類+シャワーカードを並べて撮影した。



切符の数々

室内はこんな感じである。

↓上野くん側

↓進行方向と逆側

↓私側（窓）



そうこうしているうちに、サンライズ出雲・瀬戸号は、ゆっくりと東京駅を出発した。とりあえず車内放送と車窓を撮っておこうと思い、上野くんに IC レコーダーを託して車内放送を録ってもらい、代わりに私が上野くんのコンデジを受け取って車窓を撮った。あたりは暗くてよく見えない。

さて、通学で使っている品川駅を通過した後、早速持参したつまみ類を開封し、雑談し、ゲームをした。ちなみに味海苔天国（地獄）だった。そのうちに横浜に停まり、熱海を出発したところまでは覚えている。遅くても 10 時寝 4 時半起きの私は、沼津あたりから浜松あたりまでウトウトしてしまっただけで記憶がない。

サンライズ号は浜松を過ぎると次は一気に姫路まで停まらない。名古屋を過ぎると目が覚めてきて、米原の手前で上野くんも起き、京都につくまでに車内探検を済ませた（小学生か!と思った皆さん、迷惑にならなければソツとしといて下さい）。そして京都～大阪で朝食（軽食）を済まし、姫路についたころにはやることがないのでグダァーッとしていた。

しかし岡山ではいったん降りてサンライズ瀬戸号とサンライズ出雲号の解結作業を見なければならぬ（←義務ではない）。それを見ないとこの寝台特急に乗った意味がない（←そんなことない）、つまり一か月前の努力が無駄になってしまう!!!（※あくまでも個人の見解です）

ちなみに岡山での出発はサンライズ瀬戸号が先なので、出雲号に乗っている私たちは最後まで作業を見ることが出来る。

まあそんな感じで、姫路出発直後にはもう 8 号車の後ろ側のドア（前側のドアでは降り降りできない）にスタンバイしていた。さすがに一番乗りだった（あたりまえだ）。

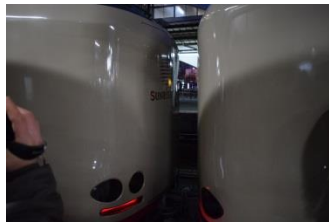
しかし岡山到着の放送が流れる時にはかなりの混雑になり、岡山に 3 分ほど遅れて到着

し扉が開くとみんな一斉にダーッと連結部分へ走って行った。

私たちも走り、場所を取って解結が始まるのを待っていた。

ここで驚いたのが、本当に老若男女、ベビーカーを押して出てきた若い夫婦から危なっかしい手つきでカメラを操作しようと試みるおばあちゃんまでこの解結作業を見に来ていたことである。もう鉄道ファンらしき人はほぼいない。

そうこうしていると解結作業が始まった。



まず瀬戸号と出雲号の間をつないでいた貫通幌が引き込まれ、瀬戸号、出雲号の順番で貫通扉が閉まる。

ここで発車ベルが鳴り、駅員が「瀬戸号発車しまあ～す！ご利用のお客様は急いで乗車してくださいあ～い！」と叫び、解結作業を見に来ていた人たちの半分が瀬戸号の方に走っていく。



そして瀬戸号が発車し、私たちやほかの出雲号の乗客も出雲号へ戻る。

ドアが閉まり、サンライズ出雲号は岡山を9分遅れで出発した。

岡山を出発するとすぐに倉敷に停まった。倉敷から我らがサンライズ出雲号は伯備線に入り、新見付近まで高梁川にそって走る。

そして備中高梁に停車した。

備中高梁を出発した時にはもう11分遅れていた。(定刻7:14発、実際7:25発)

この区間にてミニロビーで2度目の朝食(普通)を済ませた。

ここからはあまり印象に残らなかったのが割愛させて頂く。強いて言うならば、新見～米子間で雪が見られたことと、区間は覚えていないが途中で見えた大山がとてもきれいだったことくらいである。



大山



この旅行唯一の雪

というわけで、とうとう終点の出雲市に 15 分遅れで到着した。

ここまでで旅は半分ほど終了している。乗る列車が少ないこともあり（というかまだ集合してから 2 本しか列車に乗っていない）、微妙に物足りない感じがする。

ここでサンライズ出雲号は 15 分ほど停車し、それから車庫へ向かう。なのでその間に写真撮影を済ましておく。

ここで撮った写真をすこし載せておく。



@出雲市駅

1 山陰の覇者

2 日目

出雲市	11:36 発
	↓特急 スーパーおき3号 新山口行 停車駅:大田市、江津、波子(はし)、浜田、 三保三隅(みほみすみ)、益田、日原、津和野、 徳佐、三谷、山口、湯田温泉、新山口
新山口	14:57 着
	15:05 発
	↓山陽本線 普通 下関行
下関	16:12 着
	定刻 16:16 発
	16:42 発
	↓山陽本・鹿児島本線 普通 小倉行
小倉	定刻 16:30 着
	16:57 着
	定刻 17:05 発
	17:08 発
	↓特急 ソニック44号 博多行 停車駅:黒崎、折尾、博多
博多	定刻 17:48 着
	17:50 着
博多駅バス停	18:02 発
	↓西鉄バス68番 福浜行
港一丁目バス停	18:24 着
	↓徒歩
元祖長浜屋	
	↓徒歩
天神	19:50 発
	↓福岡市営地下鉄空港線 福岡空港行
博多	19:55 着

ちなみに世間でキハ187系が「山陰の覇者」と呼ばれているわけではない。私はそう勝手に呼んでいるだけである。

まあそれはさておき、しばらく駅周辺をブラブラして過ごし、11時15分にはホーム上でスーパーおきが来るのを待っていた。



そしてスーパーおきが到着した。@出雲市

スーパーおきには約3時間半ほど乗る。かなり長い。

私たちの座った1号車1番AB席の前には窓がなかったので、大田市から空いたCD席に移った。

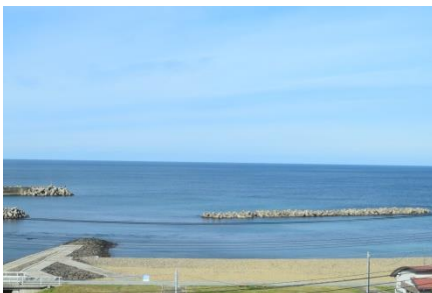
今回乗車するスーパーおき（キハ187系10番台）は振り子付きで最高時速130kmの列車である。これは京急並みの迫力である。

森の中や海岸線や幾つものトンネルを130km/hで右に左に蛇行しながら爆走するということは、酔いやすい方には辛いだろうが、酔わない私たちには爽快である。気動車なので床下からはトラックのような音がうるさいくらい響くのも迫力を増す要因の一つである。

これが私がスーパーおきを「山陰の覇者」「山陰のジェットコースター」と表現する理由である。



途中ですれ違う鳥取方面行のスーパーおき



車窓のきれいな日本海

さて、出雲市を出発すると30分ほどで大田市に到着。結局終点の新山口までCD席に人は来なかったのでよかった。

そこから次の江津まで 30 分。波子、浜田、三保三隅と 10 分程度の間隔で停まり、その次の益田から山陰本線を離れて山口線を走る。益田から先は割と頻繁に停車した。



終点の新山口に到着したのは 15 時頃だった@新山口

車内では最初の方は前面展望をのんびりと楽しんでいたりゲームをしたり味海苔を食べたりしたのだが、益田を出たころにはさすがにへとへとになっていて何もする気が起きなかった。

重い足を引きずって乗り換えて下関行に乗り込む。この電車には約 1 時間と追い打ちをかけられるように長い時間乗る。車内では味海苔を食べたり本を読んで過ごした。



下関行@下関

2 旅行にハプニングは付き物です

どーにかこーにか（ただ座っていただけだが）下関に到着し、4 分乗り換えだったので急いで移動する。

そして暖房が効きすぎて暑い車内へ乗り込んだ。

が

発車時刻になっても出発しない。これはおかしいと思い、たまたま一番前の車両だったので運転席を覗き込んでみた。すると 20 代前半くらいの運転士さんが、業務用携帯電話で誰かに電話しマスコンやブレーキをガッチャガッチャしながら「…出来ないんですよ！え？じゃあやってみますよ？（ガチャガチャ）…ほら！出来ないんですよ！」と半泣きで訴えていた。

・・・どうやらブレーキが緩まないようだ。しかし完全にパニックになってしまっている。まだ若いように見えるからなあ…。大丈夫なんだろうか。

しかしもちろん大丈夫ではなかったようだ。しばらくすると駅のホームにこんな放送が流れ始めた。

「えー小倉行普通列車ご利用のお客様にお知らせします。ただいまこの列車にて車両故障が発生しました。このためこの列車は運休となり、お手数ですがお客様には一本後の

16時37分発小倉行普通列車へお乗り換え下さるようお願いいたします。えー今回はまことにご迷惑をおかけいたします。申し訳ございません。」

・・・えー！



右が故障した小倉行、左が一本後の小倉行@下関

とりあえず乗り換える。この乗り換え客を待つために一本後の小倉行は5分遅れ、さらに小倉でそれに接続した新幹線や普通電車、特急ソニックも遅れたらしい。

早めに行動して乗り換えたので席に座ることが出来た。席に座ると隣に座っていたおばあちゃんが話しかけてきた。

「あなたたちも乗り換えてきたんか。災難やったなー」

「はい、大変でした」

「どこに住んどるんや」

「東京です」

「トーキョー！？」

というすでにお決まりのパターンから始まり、結構話し込んでいるうちに出発し、あっという間に小倉に到着。おばあちゃんは福岡に帰る途中なのだそう。

まあそれはさておき、一応小倉行の車内で接続するとは言っていたがソニックとの乗り換え時間が短い。急いで向かうと、ソニックがすぐ入線してきた。



写真が悪いが特急ソニック@小倉

ソニックの車内は快適だった。味海苔を食べたり40分間ゲームしてリラックスしていた。

そうして博多に到着。ここからバスを乗り継ぎ、福岡に実家がある上野くんの勧めで長浜ラーメンを食べに行くことにした。バスでの移動では、特筆すべきことは、**無かった**。いいですか無いですよ間違えても降りるときに小銭をぶちまけたなんてことはないない！

バス停から少し歩いて長浜ラーメン屋に。あらかじめ店を決めておいてくれたのだと思っていたら上野くんが「さてどこにしようかな〜」なんて言い出したから驚いた。あたりはもう真っ暗である。

メニューも何もなく、ラーメンか替え玉か替え肉しかなかった。食べてみるととてもこってりとしたスープで美味しい。博多ラーメンと言ったらあっさりしたものだと思っていたので驚いた。この旅行の計画を立てる時に3日目の朝飯に長浜で博多ラーメンを食べると「あっさりしているものだから」という理由で設定した時に上野くんに鼻で笑われたことを思い出した。

店を出て、近いので徒歩で福岡市営地下鉄の天神駅に向かった。
天神から博多まで地下鉄で移動し、博多で一旦解散した。



@大牟田駅

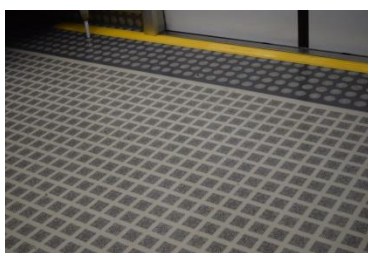
1 大牟田へGO!

3日目

博多	09:12 発
	↓福岡市営地下鉄空港線 快速 西唐津行
天神	09:17 着
西鉄福岡(天神)	定刻 10:00 発
	10:11 発
	↓西鉄天神大牟田線 特急 大牟田行
	停車駅:薬院、西鉄二日市、～大牟田
西鉄二日市	定刻 10:15 着

10:26 着
 定刻 10:27 発
 10:38 発
 ↓西鉄天神大牟田線 急行 花畑行
 停車駅:朝倉街道、筑紫、三国ヶ丘、西鉄小郡、宮の陣、
 西鉄久留米、花畑
 花畑 定刻 10:52 着
 11:02 着
 定刻 11:03 発
 11:17 発
 ↓西鉄天神大牟田線 特急 大牟田行
 停車駅:大善寺、西鉄柳川、新栄町、大牟田
 大牟田 定刻 11:33 着
 11:55 着
 12:22 発
 ↓西鉄天神大牟田線 特急 西鉄福岡(天神)行
 停車駅:新栄町、西鉄柳川、大善寺、花畑、西鉄久留米、
 西鉄二日市、薬院、西鉄福岡(天神)
 西鉄福岡(天神) 定刻 13:23 着
 13:25 着

さて、現在朝の9時10分、福岡市営地下鉄博多駅ホーム上。これから天神へ向かう。
 ここでJR筑肥線最新型車両305系が来た。ガラス張りの前面に、真珠のような白色…。
 まあ、817系と配色はほぼ同じである。乗り込んでみると、床に二次元コードらしきもの
 がたくさん印刷されている。かつこいい。



車内の二次元コード？

の数々。もちろん読めない@305系車内

そんな305系に揺られること5分。すぐ天神駅に着いた。

乗り換えが少し遠いところを乗り換えて、西鉄のホームに着いたところで問題が発覚した。なんと西鉄が車両故障の影響で遅れているらしい。しかし、すでに遅れは13分程度に回復していたので事なきを得た。

今回は西鉄で大牟田を往復する。しかし、ずっと特急ではつまらない。なので西鉄二

日市で降りて急行で花畑まで行くことにした。

西鉄二日市で降りて、急行を待つ。やってきた急行は西鉄 3000 系の 3012 編成「クリスマストレイン」だった。西鉄には 3025 編成は存在しないため、3012 編成がクリスマストレインなのだろう。



急行花畑行クリスマストレイン@西鉄二日市

花畑に着いた。次に来る特急を待つ。すると、特急が入線してきた。

その特急は、西鉄 8000 系 8061 編成 柳川観光列車「水都」だった。

説明は割愛させて頂くが、なかなかカラフルである。詳しくは「水都」と検索。

ここから水都は大善寺、西鉄柳川、新栄町、終点大牟田と停車していく。

ちなみに花畑の次の試験場前～大善寺間と蒲池～西鉄柳川～開間は単線区間である。これはこの区間を開通させるときに土地不足&資金難で用地が確保できなかったということ、久留米以南からかなり利用客が減り列車の本数も少ないということから、単線のままになっているらしい（上野くん談）。

まあそれは置いて、途中西鉄柳川で福岡方面特急の接続待ちにより 5 分ほど遅れ、終点の大牟田には結局 22 分遅れで到着した。

水都の車内を見学したり写真を撮ったりとかして、一番前の席を確保。ここでの折り返しは京急の三崎口を彷彿させる。ちなみにこの待ち時間で味海苔は完食。もう二度と買わない。

帰りは行きと同じように西鉄柳川で大牟田行特急が待っていたり西鉄久留米と西鉄二日市で人が沢山乗ってきたりした。

そして西鉄福岡(天神)に到着した。



駅正面改札前@西鉄福岡(天神)

2 終焉

3 日目

天神	13:56 発	
		↓福岡市営地下鉄空港線・筑肥線 西唐津行
下山門	14:14 着	
	15:41 発	
		↓福岡市営地下鉄空港線・筑肥線 福岡空港行
福岡空港	16:10 着	
	16:50 発	
		↓ANA262 東京/羽田行
羽田空港	18:40 着	

さて3日目午後、後半戦である。行先は去年も駐車場で登場した、そう、下山門である。

ここは JR 筑肥線と直通している福岡市営地下鉄空港線のとても有名な撮影地である。今回狙うのは JR 筑肥線の 303 系、305 系と福岡市営地下鉄空港線の 2000 系である。

その 303 系に揺られて下山門に到着。ここでまずは福岡空港側からくる下り線を撮影し、それからホームを移動して反対側を撮影する。ここでの写真を簡単に載せておく。



左上から順番に、福岡市営地下鉄空港線の 1000 系、303 系、303 系の前面に映り込むおじさん、305 系@下山門

約 1 時間 20 分撮影して、いよいよこの旅行最後の電車に乗り込む。こちらも 305 系だった。心地よいモーターの音に耳を傾けているとあっという間に福岡空港に着く。福岡ともお別れである。ちなみに上野くんは彼の実家に泊まるので、空港でお別れである。ここから私は一人で東京を目指す。

上野くんと別れてすぐに、少し早かったが保安検査場を通過、そして早めにボーディングブリッジを渡って、機内に乗り込む。1 時間と 50 分の旅を終えて羽田空港のターミナルに出ると、この旅行の長さが身に染みてくる。往路は約 20 時間、復路は約 2 時間。あ

つけなかった。

そして羽田空港からあ～やってこ～やってそ～やって(どうやって?)、家に到着した。

「ただいま」



いやー、本当に長い長い旅行でした。友達とあんなに遠くまで行ったのも初めてでしたし、こんなに旅程がコロコロ変わった旅行は初めてでした(笑)。3日目の午前午後を入れ替えたり、青春18きっぷでのんびり行こうとしたら時間が足りなくなり特急で飛ばしたり……。でも成功してほっとしています。そして無事に書き終わってほっとしています。ちなみにこの文章、締め切り当日の部活の前に福井から東京に戻る飛行機の中で書いてます(笑)。

本当にこの旅行いろいろありましたが、最後にこの旅行を後押ししてくれた両家の方々とこの長文&駄文を最後まで読んでいただいた方に感謝を込めて、ここで終わらせていただきます。



ありがとうございました！